

杉山神社 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 57-18

境内の『神社合祀記録碑』や『新編武蔵風土記稿』によると、天武天皇白鳳3年(674年)、安房国安房神社神主の忌部勝麻呂が神託により武蔵国杉山の岡に太祖高御座巢日太神(高御産巢日神)、天火和志命(天日鷲命)、由布津主命(阿八別彦命)の三柱を祀られたことが記されており、同氏の麻穀栽培地開墾の拡大とともに神社も広まったとされる。

現祭神は神奈川県神社庁サイトによれば天照大神。

当時の都筑郡は開拓者である忌部氏の勢力が強く、多くの古墳や環濠集落が作られ、武蔵国府の支配外にある一つの小国を形成しており、古東海道も横断し物資の集散地であった。

当社には神職が常駐しておらず、青葉区荏田町にある劔神社の兼務社となっている。

(現在、参道から拝殿前が工事中)



道路脇に目立つ社標



1の鳥居と2の鳥居



拝殿



手水舎



扁額



拝殿全容



稲荷神社がすぐ隣にある



神社合祀の記念碑